

## 修了される皆さんへ



武庫川女子大学  
学長 瀬口和義

大学院修士課程、博士課程、専攻科 修了の皆さん、学位取得、修了おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、皆さんとご家族の健康・安全を最優先に考え、また感染拡大を防ぐ観点から、大変遺憾ではありますが、今年度の学位記・修了証書授与の式典は中止といたしました。

学位記・修了証書の授与式は研究者・専門家となる皆さんの人生の大きな節目として、一生の記憶に残る1ページであることは言うまでもありません。皆さんが本学の大学院・専攻科で体得したものが、一層の研鑽を積むことにより、実体として自他ともに認識されることを願い、式典で予定しておりました学長式辞に替え、皆さんにお祝いのメッセージをお贈りいたします。

本学は、わが国の女子大学・大学院・専攻科のなかで、教育・研究の水準、規模において屈指の優秀校です。皆さんは、本学の大学院あるいは専攻科において、さまざまな困難を克服し、勉学、研究、演奏に励み、学位の取得または専攻科を修了されました。

本学の大学院、専攻科を修了し、高度な専門的業績を上げ、それを世に問おうとする皆さんは本学の誇りであり、本学の教育研究、芸術活動の水準の高さを社会に示す証です。

創設者の公江喜市郎先生は、43年前の昭和52年の卒業生に対して次のように述べられました。

「真剣に勉学された皆さんは、学問真理の広大無辺に打たれ、その前に置かれた自己の無知なる現実に目覚め、無知なるが故に一生学び続けなければならないという研学意識を掻き立てられたことと思います。この謙虚にして意欲的な人生への姿勢、これこそが大学教育の目的です。」

この挨拶は現代にも当てはまります。皆さんの研究や演奏を静かに客観的に振り返ってみてください。独創性や創造性いわゆるオリジナリティあるいはクリエイティビティには自信がありますか。また真理の探究のための十分なエビデンス、論旨の論理性、研究や演奏の価値などはどうでしょうか。私自身もそうですが、研究活動の一環として多くの論文を書きましたが、満足できる論文は必ずしも多くないと感じています。逆に、論文が公開された後、自分の無知を知り、それがまた、学問の深淵にいざなわれてきました。

今日、公開された論文は情報化の時代、日本だけでなく、世界の何人もアクセス可能で、即座に参照することができます。著者は公開された自らの論文に対し永遠に責任を持たねばなりません。逆に論文のオリジナリティや成果は永遠に著者に帰属する榮譽もあります。そういう意味で私たちは学問に対して常に謙虚でなければなりません。さきほどの公江先生の挨拶はこういうことをおっしゃっているのではないのでしょうか。

学院は今年度節目の創立80年を迎え、創立90年、そしてさらにその先を目指しスタートを切りました。皆さんは記念の年の学位取得者、修了者ということになります。皆さんにとって、学問研究の道、芸術活動の道は今日で終わりではありません。今日が出発の日です。これからも母校である本学を忘れずに、私たちと共に研鑽の道を歩み続けましょう。

皆さんの学位取得、修了を心からお祝いし、ますますのご活躍を祈念して、お祝いのメッセージといたします。

令和2年3月